

1. テキスト及び補助教材の紹介

- ◆『音楽－ピアノ教本－』: ピアノ及び弾き歌い技能を習得するための教本です。
- ◆『音楽－声楽教本－』: 歌唱の基礎を習得するための教本です。
- ◆『音楽(理論)』: 楽譜を読むためのスキル、つまり音楽の文法を習得するための教本です。

*学籍番号: 正(科)181の学生は桃色のテキストです。

2. 学習方法について

- ・各自でピアノの指導者を探し、定期的にレッスンを受けるようにしてください。
- ・ピアノ、声楽とも記録表の順に従ってレッスンを進めてください。
- ・レッスンプログラムが終了したら、指導者に押印してもらってください。

3. スクーリングについて

(1) 開講時期と授業内容

- ・1年次に「幼児と音楽表現」、2年次に「音楽表現技術」を、夏期スクーリングと土日スクーリングで開講します。

*桃色のテキストの学生は「音楽(器楽・声楽)」1年次・2年次に該当します。

- ・1回の授業において、ピアノの個人レッスンと声楽のグループレッスン、両方を実施します。

(2) 受講条件

- ・「幼児と音楽表現」(1年次)
: 記録表のピアノ①(25曲)の個人レッスンが終了し、指導者の押印がしてあること。
- ・「音楽表現技術」(2年次)
: 記録表のピアノ①(1~22)及びピアノ②(23~45)の個人レッスンが終了し、指導者の押印がしてあること。

*桃色のテキスト(正(科)181の学生)

「音楽(器楽・声楽)」1年次

: ピアノレッスン記録表①の3段目までの個人レッスンが終了し、指導者の押印がしてあること。

「音楽(器楽・声楽)」2年次

: ピアノレッスン記録表①②③の個人レッスンが終了し、指導者の押印がしてあること。

- ※音楽大学を卒業した者及び同等の音楽技術を有する者に限り、押印がなくてもスクーリングの受講を認める場合があります。該当者はその旨を事前に事務に連絡をしてください。
スクーリング時に担当教員で判断します。
- ※指導者の押印があっても、スクーリング担当教員がレッスンを進める中で技術が伴っていないと判断した場合は、受講条件を満たしていないとし、スクーリングを中止とします。
次回受講の場合は再度申し込み手続きを行い(受講料も必要)、再受講となります。
- ※声楽については、声楽記録表に指導者の押印が無くても受講できます。ですが、ピアノ指導者に譜読みや歌唱を聞いてもらうなど、事前の準備をしておくことを勧奨します。
- ※ピアノを演奏する際は爪を切っておきましょう。
- ※ピアノのレッスンは練習の場ではありません。日頃の成果の確認・仕上げの時間だということを心得てください。

4.試験について

- ・スクーリング最終日(4日目)に実施します。
- ・記録表の項目ごとに試験が実施されます。
 - ：「幼児と音楽表現」…ピアノ①・ピアノ②、声楽
 - ：「音楽表現技術」……ピアノ①・ピアノ②、声楽

*桃色のテキスト(正(科)181の学生)

- ：「音楽(器楽・声楽)」1年次…ピアノ記録票①②③・声楽記録票①②③
 - ：「音楽(器楽・声楽)」2年次…ピアノ記録票①②③・声楽記録票①②③
- ・各項目の曲を全て熟し押印(指導者または受講時の担当教員)がされていることで受験が可能となります。
 - ・ピアノにおいては項目順(①②)で試験を受けてください。
 - ・60点以上で合格となります。

【試験日程】

	申込〆切(本学必着)	試験日
第1回	R7年 5月19日(月)	5月24日(土) 11:00開始
第2回	R7年8月25日(月)	8月29日(金) 「幼児と音楽表現」9:00開始 「音楽表現技術」13:45開始
第3回	R7年12月15日(月)	12月21日(日) 「幼児と音楽表現」9:00開始 「音楽表現技術」13:45開始
第4回	R8年1月5日(月)	1月10日(土) 11:00開始
第5回	R8年1月19日(月)	1月24日(土) 11:00開始

※試験曲は試験日前日に開示します。

第1回、第4回、第5回については14:00開示。

第2回、第3回については、「幼児と音楽表現」14:00、「音楽表現技術」17:00開示。

【申 込】

- ・スクーリング最終日(4日目)に受験する場合は、授業時に受験希望を取りまとめます。
- ・スクーリング外での試験を受験する場合は(i)(ii)どちらかの方法で申込みください。

(i)「音楽実技試験申込書」(「諸届出用紙」綴)に掲載のQRコードを読み、
申込フォームから受験手続を行う。

(ii)「音楽実技試験申込書」を締切日必着で提出する。

*電話での申込は一切受け付けません。

*追加の受験料はかかりません。また受験許可証の発行はありません。

【課題曲】

「幼児と音楽表現」(1年次)			「音楽表現技術」(2年次)		
ピ ア ノ	記録票①	1~25から2曲指定	ピ ア ノ	記録票①	1~22から2曲指定
	記録票②	26~47から2曲指定		記録票②	23~45から2曲指定
声 楽	コールユーブンゲンから 6、10、12、15 b		声 楽	コールユーブンゲンから 20、25、32、36	
	コンコーネから 1			コンコーネから 5	
	子どもの歌から 記録表課題を1曲を選択			子どもの歌から 記録表課題を2曲を選択	

*ピアノ…こどもの歌(歌詞の記載された曲)は弾き歌いしてください。(1番のみ)

*桃色のテキスト(正(科)181の学生)

ピアノ	記録票①	バイエル1~36、マーチ1~10から 2曲指定
	記録票②	こどもの歌1~35から 2曲指定
	記録票③	こどもの歌36~70から 2曲指定
声楽	記録票①	コールキューブンゲン6、10、12、15b コンコーネ1
	記録票②	コールキューブンゲン19、20、25、28 コンコーネ3
	記録票③	コールキューブンゲン32、34、36、40 コンコーネ5

【注意事項】

- ・「記録表」を必ず持参してください。忘れた場合は受講並びに受験不可となります。
- ・繰り返しはせずに演奏してください。

5. 音楽(理論)の学習の進め方

設題に対してレポートを提出し、科目週末試験を受けて単位を修得します。4つの設題があり、設題ごとにレポートを終了して受験資格が得られます。

『音楽(理論)』のレポートはどちらかの用紙で提出してください。

- ・3,000字用紙で提出:1冊(4設題)
- ・1,500字用紙で提出:2冊(2設題×2)